

評価項目	具体評価項目	目標	基準	評価	評価	改善策
確かな学力	授業技術の向上	児童が授業の中で満足感や達成感を持てるような授業を行う	研修部が立てた計画に沿って研修が進められている。(電子黒板・公開・新学習指導要領・英語・外部研修)	B	B	評価基準の見直し、全職員で確認する場を設ける。 研修テーマや進め方の見直しをする。 外部研修に参加するための時間の確保。
			指導方法の工夫のため、個人や学団で定期的に研究の時間を取っている。	B		
			全職員で評価基準の定期的な確認ができています。	C		
	児童への指導	関心意欲態度・思考判断・表現・技能処理・知識理解がバランスよく身に付くよう指導する。	5本柱の力がバランスよく身に付いているかどうかを振り返る場を個人や学団で定期的・継続的に取れている。	B	B	・CR1検査結果の分析と、その情報の共有、指導への生かし方を確認する。
			学習習慣が身に付くように、定期的・継続的な呼びかけができています。	B		
			前年度のCR1検査の結果を分析し、新年度の指導に活かしている。	C		
	教材・教具	良い授業を行えるよう教材、教具を整備する。	必要な教材・教具が適切な場所に整理して置かれている。	B	B	教科専任制の一部導入により、教科ごとの担当が明確になるので、それぞれの担当で廃棄、補充等を行う。
			教材・教具の共有化をするための情報交換ができています。	B		
			教材・教具を過不足なくそろえるための予算立てが、職員全員の意思を反映する形で行われている。	B		
生活力の	きまり	基本的な生活習慣が身に付くよう指導する。	月目標に沿った指導がなされている。	B	B	・スクールバス指導は、低学年だけでなく全体に対して行う。 生活指導については、新しい校務分掌の担当者中心に見直しと計画立てをする。
			持ち物、服装、髪型のきまりが守られるよう指導している。	B		
			スクールバス指導は、担当者が年間計画を立て、それに沿って指導している。	B		
	安全	児童自らが危険な状況を認知し、それを回避する力がつくよう支援する。	避難訓練、交通安全教室、通学路安全点検、冬の野外活動など、時期に合った適切な安全指導が担当者の明確な目標の下、行われている。	A	B	不審者情報については、黒板に掲示し、特に目立った時のみ出す。先生方にも声をかける。
			遊具の使い方、施設の確認等、日常の安全を守るためのルールが全児童、教師間で共有されており、定期的な指導がなされている。	B		
			不審者情報の伝達が確実かつ効率的に行われている。	C		

の 向 上	心	相手を受け入れ、自分から関わり、他人のために喜んで役割を果たせるような態度が育つよう支援する。	児童が主体的に活動できる場や異学年が触れ合える場を学期に数回設定している。	B	B	縦割り活動の内容をはっきりさせる。時間を確保する。	
			「自分から友達になる白百合生」に基づいた目標を立て、それに沿った活動ができるよう支援している。	B			
			取り組み姿勢・態度について、自己評価、相互評価ができるような場と時間が確保されている。	B			
	体	望ましい食生活を土台としたたくましい体作りができるよう支援する。	年間を通して継続的に児童の運動量が確保できるような活動が計画的に実施されている。	B	B	給食の業者からのお話は、学期ごとに定期的にあると良い。	
			体を使った遊びが活性化するような仕掛けを各学年で効果的に行っている。	B			
			食育担当者が立てた年間計画に沿って、効果的な指導がなされている。	B			
特色ある 教育活動	宗教	神の愛を理解し、神の愛に生きられるよう支援する。	宗教的暦に合わせた年間計画を立て、それに沿って実施できている。	B	B	宗教担当の校長が中心となって取り組んでいるが、宗教担当者を決め、複数で当たれるとさらに良い。	
			年間計画が全職員、全児童に周知されるよう工夫している。	B			
			担当の先生を中心に校内の協力体制が取れている。	B			
	英語	体験的に学ぶことで耳を鍛え、英語で表現することができるよう支援する。	体験的に学ぶことで耳を鍛え、英語で表現することができるような授業やワンポイントイングリッシュを行っている。	A	B	B	学んだことを活用する場を担任や教職員がもっと意識的につくる必要がある。
			担任が月に1回以上は授業を見て内容を理解し、他教科や生活面で活かしている。	B			
			行事などで学んだ英語を活用する場の設定をし、全員で支援している。	B			
	弦楽	弦楽器に触れることで、豊かな感性や情操が育まれるよう支援する。	弦楽の活動が年間を通して計画的に行われている。	A	A	A	児童募集活動と切り離し、活動が膨らみすぎないよう注意する。 学校としての方針を決め、それに沿った形で行えるようにする。 活動補助のボランティアをお願いする。 保護者に理解していただけるよう、学校から変更の意図や内容について発信し続ける。
			各種コンクール、発表会など対外的な場に向けて、目標を持って取り組めるよう指導している。	A			
			授業の中で弦楽器に触れる機会を計画的に取り入れている。	B			

	縦 割 り	互いの立場を理解し、自分の役割を果たすことができるよう支援する。	学年に応じた役割分担ができています。(反省をこの視点で行う。以下同様)	B	B	ねらいを明確にし、教師の関わり方、その範囲、内容等を明確にするよう努力を重ねる。
			教師が適切に関わっている。	B		
			自分の役割を果たし、協力できるよう支援している。	B		
	情 操	体験(お琴・お茶席)を通して豊かな心を持てるよう支援する。	年間計画に沿って活動できている。	A	A	担当者任せにならないよう意識し続ける。
			講師の先生方との連絡調整がうまく取れている。	A		
			担当の先生を中心に校内の協力体制が取れている。	B		
環 境 整 備	施 設	児童が安全、快適な学校生活を送れるよう、施設設備を整える。	担当者が年間計画を立て、適切に予算を組む。(防災関係含む)	B	B	補修、補充の他に、廃棄についても学期ごとに点検する。
			学期ごとに点検ができています。	B		
			適切に補修・修繕ができています。	B		
	備 品	児童が快適な学校生活を送れるよう、備品を整える。	担当者が年間計画を立て、適切に予算を組む。(防災関係含む)	B	B	補修、補充の他に、廃棄についても学期ごとに点検する。
			学期ごとに点検ができています。	B		
			適切に排気・補充ができています。	B		
(保 護 者	保 護 者 と の 連 携	保護者の立場を尊重しつつ、学校の考えを伝え、互いに協力しながらより良い学校作りをしてもらえるよう努める。	父母会の各組織が活発に運営されるよう適切な働きかけができています。	B	B	父母会組織の見直しをする。協力しやすい体制作りを目指す。基本的な考えは、効率化。
			児童指導において、必要に応じて適切な方法で保護者と連絡を取っている。	B		
			保護者からの要求・相談に対して、個人またはチームで学校の方針を明確にし、それが理解してもらえるように伝え方を工夫している。	B		

者・学園・地域社会)	行事などへの参加	保護者、園児、児童、生徒、職員、地域の方々が交流できるよう支援する。	行事の目的が明確に定められ、参加者全員に周知されている。	B	B	行事後の反省を速やかに行い、次年度への改善策を係が検討し、全員で共有できるようにする。
			行事の内容が多岐にわたるよう工夫されている。	B		
			多くの人に参加してもらえるよう呼びかけを工夫している。	B		
幼・中高との連携	それぞれの立場を理解し、連携できるよう努める。	行事(運動会・学園祭・クリスマス会)の際に連絡を密にし、協力し合っている。	B	B	具体的な連携の場を持つよう、管理職レベルでの働きかけを継続する。	
		幼小、小中間で連絡協議会などの場を設け、児童理解に努めている。	B			
		合同のイベント、会議をそれぞれ年に数回実施している。	B			
運営組織	学校教育目標を達成できるよう、全教職員が一人ひとりと、また集団として最大限の力を発揮できるよう組織する。	校長が教職員個々のまたは全体の要望・意見を聴く場を設けている。	B	B	校務分掌上の主任は、必要に応じて総務会(週1回開催)に出席し、要望や意見を出したり、情報を共有したりする。	
		案については、複数の主任に諮問がなされている。	B			
		年度の途中でも、必要に応じて改良がなされている。	B			
研修	教師としての技量を高め、かつ人間としての成熟を目指す。	学団での研修、テーマごとの研修が定期的に行われている。	B	B	研修テーマ、内容を見直し、その方針に従った研修を行う。	
		「学団に勤める教師集団」とはどうあるべきなのかという視点で話し合う場がある。	B			
		外部研修に一人最低2回は参加している。(夏休み、冬休みを含む)	A			
危機管理	突発的な事態に迅速かつ適切に対応する。	指示系統が明確で、それに沿って職員が適切に行動している。(情報の共有、適切な指示)	A	A	避難訓練を繰り返し行い、災害時の対応が速やかに的確に行えるようにする。 夏休み期間中に、職員による宿泊訓練を行う。	
		保護者への連絡が速やかかつ正確に行われている。	A			
		児童の安全を最優先に考え、行動できている。	A			

組織・運営

	情報処理	整理、管理、共有化を徹底する。	個人、共有スペース共に整理整頓されている。(学期ごとの大掃除)	B	B	パソコンのデータは、整理をする。 パソコンの利用法を見直す。情報管理についてのきまりを明確にし、全職員に周知徹底する。
			紙ベースの情報の適切なファイル化がなされている。	B		
			デジタル情報の整理、管理がパソコンで効率的に行われている。	B		
児童募集活動	イベント	多くの人に足を運んでもらえるような内容を考え、実施する。	年間計画、イベントの企画内容が十分に工夫されている。	B	B	イベントの内容を精選する。基本的には減らす方向で。ニーズに合わせた内容の工夫をする。年度始めの計画段階で、具体的な内容まで検討しておく 広報手段の工夫を。特に学校説明会については、依頼文書をつけて配布するなどの工夫を。
			有効な広報活動ができています。(3つ以上の手段)	B		
			イベントの在り方や改善点などについて整理し、新たな方を模索している。	B		
協力委員会との連携	協力しながら、効果的な募集活動に結びつくよう努める。	多くの委員に参加してもらえよう、効果的な呼びかけを複数行っている。	B	B	募集協力委員会の廃止。 募集活動への協力体制や意識の維持をどうするか、模索する。	
		協力委員の方々が動きやすいように関わることができている。	B			
		目的の明確化、話し合う時間の確保など、改善に向けての動きが進められている。	B			
広報	保護者	必要なことが適切な時期に伝えられるようにする。	年間計画に沿って行われている。	A	B	出来上がったものに対する意見を担当者が集め、分析検討し、改善策をまとめ、提案する。
			対象を意識した内容の工夫がされている。	B		
			出来上がったものに対する評価・感想などが担当者に集まり、次への改善につなげられている。	B		
	不特定多数	学校の様子をわかりやすく誰でも気軽に知ることができるようにする。	年間計画に沿って行われている。	A	A	出来上がったものに対する意見を担当者が集め、分析検討し、改善策をまとめ、提案する。
			対象を意識した内容の工夫がされている。	A		
			出来上がったものに対する評価・感想などが担当者に集まり、次への改善につなげられている。	B		
	募集関連	対象を明確にし、効果的な広報活動を行う。	年間計画に沿って行われている。	A	A	出来上がったものに対する意見を担当者が集め、分析検討し、改善策をまとめ、提案する。
			対象を意識した内容の工夫がされている。	A		
			出来上がったものに対する評価・感想などが担当者に集まり、次への改善につなげられている。	B		

